

U12 ルール説明会 2025-2026

～ポジショニング（昨年の再確認）～

～新ルールの確認～

～TFの考え方と処置～

< 審判のポジショニング >

- 昨年の再確認 -

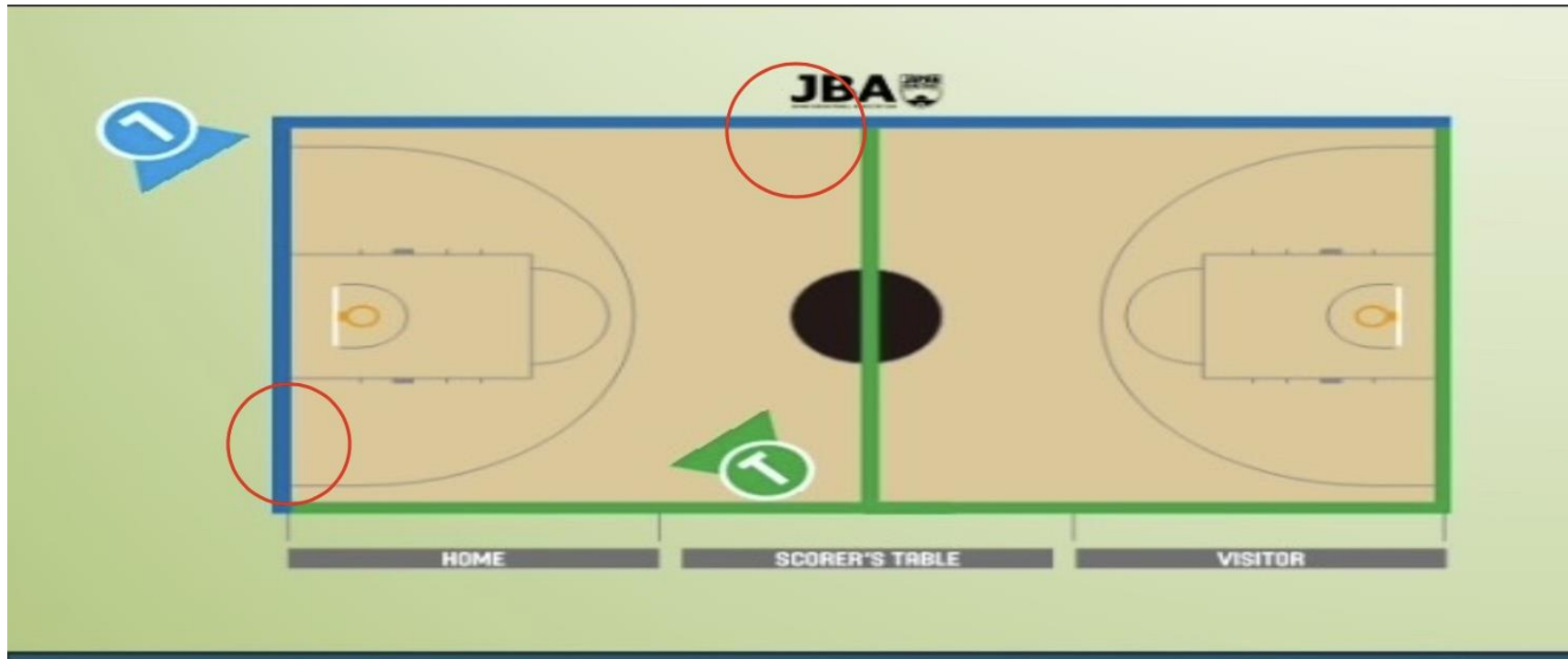


トレイル：ゴール下でプレイがある場合はしっかり下まで降りて判定しましょう

リード：中に入りすぎる正しく判定できないのでアウトサイドインで判定しましょう

< 審判のポジショニング >

- 昨年の再確認 -



アウトオブバウンズも自身の責任エリアを判定しましょう
トレイル→緑 リード→青色
※2人から遠い所(赤丸は注意が必要です)

<新シングル>

3. 審判のシグナル（絵 51）、6-3 ファウルが起こったとき

【追加】

パス・オフ（ショットの動作中にファウルが起きたあと、ファウルをされたプレイヤーがパスをすること）



手のひらを開いて両手を横に動かす

ショットの動作中にファウルをコールされたプレイヤーが、笛が鳴ったあと、ショットをやめ、明らかにパスをしたと審判が判断した場合のジェスチャーです。

笛を鳴らしたあと、手のひらを開いた状態で、両手を使って、「パスをした」ということを表現することで、そのファウルはショットの動作中のファウルではないと判定したことを表現します。

※チームボーナスのシチュエーションであれば、ボーナスのフリースローは与えられます。

シグナルについては一般的に理解しやすいことが条件としてよりわかりやすく表現を工夫することに限りはない

新ルール（U12に関わるもののみ）

01 第4条 チーム

変更のポイント

ユニフォームの規定についてTシャツの着用に関する一部文言が削除されています。
☆この変更により、ユニフォームの下にコンプレッションウェアを着用することの整合性を図る形となっていることがポイントです。

2024 バスケットボール競技規則（変更前）

4-3-1

全てのチームメンバーのユニフォームの規定は、次のとおりとする：

- ・シャツは、パンツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの。シャツに袖がある場合は肘より上まででなければならない。長袖は認められない。
- 全てのプレーヤーは、コート内ではシャツをパンツの中に入れなければならない。「オールインワン」は認められている。
- 【補足】国内大会では、女子についてはシャツをパンツの外に出すようにデザインされたものを使用してもよい。
- ・シャツの下にT シャツを着ることは、いかなるスタイルであっても認められない。
- ・パンツは、シャツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの。パンツの裾は膝より上まででなければならない。
- ・ソックスは、全てのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたもの。ソックスは見える状態で見なければならない。
- 【補足】国内大会においては大会主催者の考えにより変更することができる。

2025 バスケットボール競技規則（変更後）

4-3-1

全てのチームメンバーのユニフォームの規定は、次のとおりとする：

- ・シャツは、パンツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの。シャツに袖がある場合は肘より上まででなければならない。長袖は認められない。
- 全てのプレーヤーは、コート内ではシャツをパンツの中に入れなければならない。「オールインワン」は認められている。
- 【補足】国内大会では、女子についてはシャツをパンツの外に出すようにデザインされたものを使用してもよい。
- ☆~~・シャツの下にTシャツを着ることは、いかなるスタイルであっても認められない。~~
- ・パンツは、シャツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの。パンツの裾は膝より上まででなければならない。
- ・ソックスは、全てのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたもの。ソックスは見える状態で見なければならない。
- 【補足】国内大会においては大会主催者の考えにより変更することができる。

コンプレッションウェアや着圧タイツなどで半袖や長袖のものがOKになる

新ルール（U12に関わるもののみ）

05 第27条 近接してガードされたプレーヤー

変更のポイント

近接してガードされたプレーヤーについて、ボールをファンブルした場合の例と解説が追加されました。

☆ これまでと変わらず、近接してガードされたプレーヤーは5秒以内にパス、ショットあるいはドリブルをしなければならず、ファンブルはこのいずれにもあたりませんので5秒ルールのバイオレーションとなることがポイントです。

2024 バasketボール競技規則
インタープリテーション（変更前）

<新規追加>

<新規追加>

2025 バasketボール競技規則 インタープリテーション（変更後）

27-1

条文： 近接してガードされているプレーヤーは、5秒以内にパス、ショットあるいはドリブルをしなければならない。

27-2

例： A1はB1に近接して4秒間ガードされた。その後A1はボールをファンブルし、再びキャッチした。

解説： A1は5秒以内にパス、ショットあるいはドリブルをしていないため、5秒のバイオレーションとなる。ドリブルの始まりや終わりにボールをファンブルすることはドリブルではない。

ルール変更ではなく、
文言の追加です。

新ルール（U12に関わるもののみ）

07 第31条 ゴールテンディング、インタフェアレンス

変更のポイント

審判の笛が鳴った後で得点が認められるかどうかについて例と解説が追加されました。
ショットのボールが空中にある間にファウルが起き、**笛が鳴った後でプレーヤーが正当にボールに触れたとき、その時点でボールはデッドとなることから、その後でボールがバスケットに入ったとしても得点は認められないことがポイントです。**
（ボールがリングに触れたあと、バスケットに入る可能性が残っているときは、どのプレーヤーもボールに触れてはならない制限（競技規則31-2-5）は引き続き適用されます。）

2024 バasketボール競技規則
インタープリテーション（変更前）

<新規追加>

2025 バasketボール競技規則 インタープリテーション（変更後）

31-16



例：A1のショットのボールが空中にあるときにB1がA1にファウルをした。その後、ボールが上昇している間にB2が正当に触れ、ボールはバスケットに入った。

解説：得点は認められない。審判が笛を吹いたあと、B2がボールに触れたことでボールは速やかにデッドとなる。

ビックマンがいるチームなどは特に注意
正当なブロックショットでノーバスケットになります。

新ルール（U12に関わるものののみ）

Official Basketball Rules 2024 Basketball Equipment（変更後）

7 プレーヤーファウルの表示器具標識とゲームディスクオリフィケーション（GD）マーカー

7.1

タイマーの使用するプレーヤーファウルの表示器具は：

- ・白色でなければならない
- ・数字は縦200mm以上、横100mm以上の大きさをなければならない
- ・1から5まで番号が両側に付けられる（1～4は黒色で5は赤色）

7.2

タイマーの使用するゲームディスクオリフィケーション（GD）マーカーは：

- ・赤色でなければならない
- ・GDの文字は白色で、縦200mm以上、横100mm以上の大きさを両側に付けられる

図11 プレーヤーファウルの表示器具標識とゲームディスクオリフィケーション（GD）マーカー（レイアウト例）



TOセットに追加が必要です
TF2回 or UF2回
TF・UF合わせて2回
の場合に使用

<TFの考え方と処置>

- TFとは→コンタクトの伴わない言動や振る舞いに対するファウル
Respect for the gameに反するもの

TFはPFとほぼ同じで特別なファウルではない

例) 審判への過度なアピール、相手チーム・プレイヤーへの挑発や威嚇
ディレイオブザゲーム、インテグリティ

- 処置→罰則はフリースロー1本

フリースローを打ったらその前の状況から再開

例) 白がシュート決めた直後に白HCにTF

→青にFT1本で青のスローインから再開 (24sリスタート)

ゲーム中のコーチによるプレーヤーへの 暴言、暴力的行為に対する対応方針（ガイドライン）

JBA では、インテグリティの精神（誠実さ、真摯さ、高潔さ）に則り、「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」を推進していきたいと考えています。これは、ゲームに関わるプレーヤー、コーチ、審判全ての協力でゲームの価値を高めようとする取り組みであり、ゲームを尊重する精神「リスペクト・フォー・ザ・ゲーム」にそったものでもあります。

バスケットボールのゲームは、ゲームに関わる関係者のみならず、観客の存在も欠かすことができません。プレーヤー、コーチ、審判、観客も含めてゲームの価値を高める努力をすることが必要です。そして、そのためにはコーチの振る舞い（行動や行為）も非常に重要になってきます。コーチの振る舞いは、ゲームに関わる関係者（プレーヤー、審判）に直接影響があるだけでなく、ゲームを観ている観客の方々にとっても大きな影響を与えます。

そこで、コーチの振る舞いについてある一定の基準を設けてテクニカルファウルの対象とし、ゲームの価値を下げない取り組みを推進することとしました。

【テクニカルファウルの対象となる振る舞い（行動・行為）】

1. コーチのプレーヤーに対する暴言

(1) 人格、人権、存在を否定する言葉

〈具体例〉最低、クズ、きもい、邪魔、出ていけ、帰れ、死ね、てめえ、この野郎、貴様

(2) 自尊心を傷つける、能力を否定する言葉

〈具体例〉役立たず、下手くそ、アホ、バカ

(3) 身体的特徴をけなす言葉

〈具体例〉チビ、デブ

(4) 恐怖感を与える言葉

〈具体例〉殴るぞ、しばくぞ、ぶっとばすぞ、帰りたいの？、試合出たくないの？

2. コーチの暴力的（攻撃的・虐待的含む）振る舞い（行動・行為）

(1) 殴る、蹴るなどを連想させる行為

(2) プレーヤーと近接（顔の目の前、腕一本分より近い距離）して高圧的威圧的に指導する行為

(3) 「おい！」「こら！」と大声でプレーヤーを高圧的威嚇的に指導する行為

(4) 継続的、かつ、度を超えた大声でプレーヤーを指導する行為、いわゆる怒鳴りつける行為

(5) 物に当たる、投げる、床を蹴るなどの行為

3. 第三者が不快と感じる振る舞い（行動・行為）

(1) 不潔な服装、裸足やスリッパでの指導

U12で
79い



(c) The Niigata Nippo

新潟県教育委員会は、部活動の試合で他校の生徒を怒鳴るなどのハラスメント行為をしたとして、中越地方の高校の40代男性教諭を減給3カ月（10分の1）とした。

県教委によると、40代男性教諭は2024年10月、自身が顧問を務めるバスケットボール部の公式試合で、審判をしていた他校の生徒の判定を不服として「ファウルだろ、分かっているのか」、「どこがファウルなんだ」などと繰り返し大声で怒鳴るなどした上、試合後に生徒を呼び出して問い詰めた。生徒は不眠症状が出て精神的に不調になったという。

審判員としてやるべき事をやりましょう！（TFを宣するなど）